

薬剤師による患者の問題点に着目した禁煙治療サポートの実践

(香川県) そうごう薬局 高松メディカルモール店

○森澤祐介、土井優也、岩崎雄一

【目的】

禁煙薬物治療において、治療期間を全て終えた患者、もしくは治療期間が長期になるほど禁煙成功率が向上することが知られている。そして、治療を完遂するためには、服薬指導や禁煙指導の観点から薬剤師のサポートが重要となる。当薬局でも、治療未完遂の患者がおり、さらなるサポートが必要であった。そこで、過去の未完遂患者を調査し、明らかとなった問題点を参考にし、て対応マニュアルを作成した。このマニュアルに沿ったサポートにより、禁煙治療完遂率に改善がみられるかを検証したので、その取り組みについて報告する。

【方法】

過去 95 例の禁煙治療患者が抱える問題点を薬歴より抽出し、その対応策を検討した。また、日本呼吸器学会等が作成した標準禁煙治療プログラムから、保険薬局で確認できる項目を抜粋し、上記対応策と合わせて継続的にサポートできる禁煙治療患者対応マニュアルを作成した。

本マニュアルの検証として、2017 年 4～6 月の 3 か月間、当薬局において新規チャンピックス®服用患者 22 名を対象にサポートを行った。

【結果】

過去の治療未完遂の理由は、治療費が高いこと、受診が面倒であること、副作用の発現などが主であった。これら問題点に対して、禁煙治療費用と喫煙費用の比較、受診回数の説明、副作用の種類・対処方法などの情報提供、支援方法をマニュアルに取り入れた。新規禁煙外来患者に対しマニュアルを用いた結果は、治療期間である 12 週間を達成した患者が 10 名（46%）であり、過去 95 例中 21 名（22%）と比較して禁煙治療完遂率の向上がみられた。

【考察】

今回作成した対応マニュアルにより、完遂率を低下させる問題点に基づいた説明、ならびに禁煙治療の継続したサポートをする事で、禁煙治療完遂率の改善に寄与することができた。今後の展望として、新たな問題点を収集・分析することで、マニュアルやサポート方法に改良を加え、禁煙治療完遂率の向上を目指して、日々禁煙サポートを行っていきたい。

【キーワード】 禁煙薬物治療、標準禁煙治療プログラム、禁煙治療完遂率

申請するカテゴリー → 23) 禁煙支援